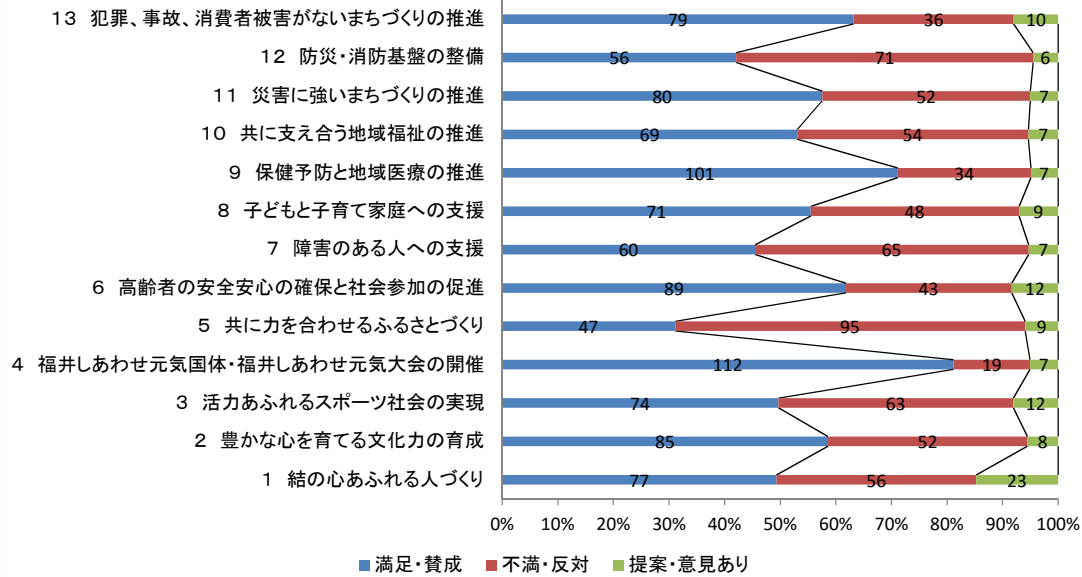
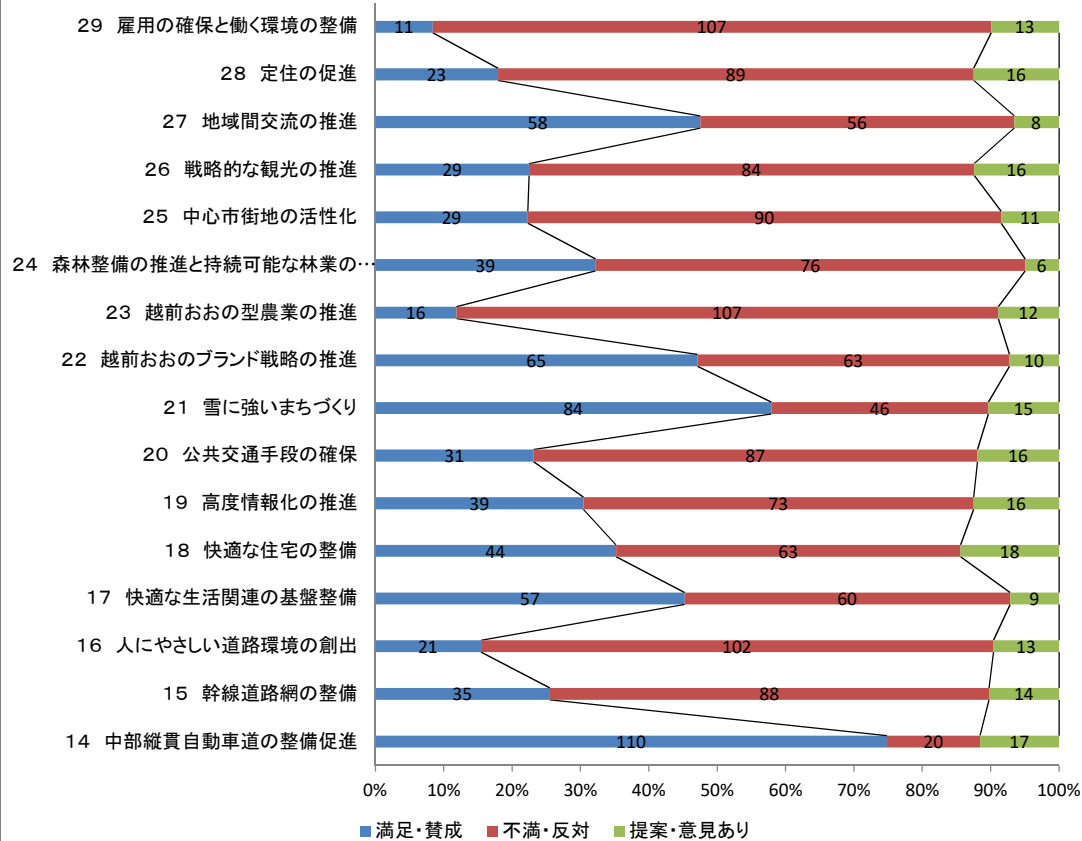


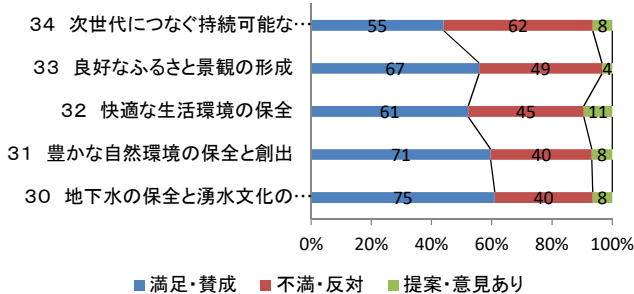
人が元気



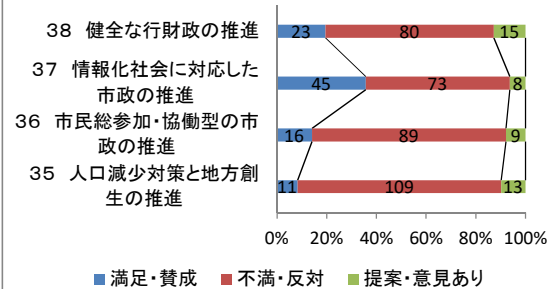
産業が元気



自然が元気



行財政改革



地区別ワークショップ アンケート自由意見

- ・赤ちゃんから高齢者の方ひとりひとりが主役のまちづくりを求める。
- ・私の娘（20代）は、1才児の子育て中で、大野で子育てがしたいと言っている。家族のようなあたたかい結の心を感じられる大野であってほしい。
- ・小中学校を早く統合してほしい。先生も支援しやすい体制となるのでは。人数が少なすぎて不安。
- ・学校がどんどん少なくなり、これから子どもは周りに友達がいなくなり不安。
- ・未来を担う子どもたちのため、もっと住みやすいまち、働きやすいまちにしてほしい。
- ・若い方が働きたいと思える職、環境を整えることができるか。地元に残る人、又は戻って来られる方が増えるような魅力の創出が必要。
- ・自然が良くないところには産業もこない。何を最優先するかを第六次に反映させてもらいたい。自然を第一に考えないと次世代につなぐ持続可能な社会の形成はできないと思う。
- ・仕事は福井市で行い、住むのは静かで落ち着いた大野ですというのはどうか。
- ・越前おおのブランドをもっと見つけて発信をもっと考えて欲しい。
- ・人口減少、少子高齢化が進む中、次の世代に豊かさと活力をどのように引き渡していくか。
- ・農業で生活基盤が図れる、従事者の確保が図れる農業のあり方、食料自給率を確保していけるということが大野から発信していけるような農業のあり方を模索していかなければならない。
- ・大野市民として安心して生活できるよう希望する。
- ・学校もない、病院もないとなると安心して子どもを産み育てることができない。
- ・行政と市民のパートナーシップによる市政の運営が求められる。いかに「自分ごと」として考え、行動することができるか、行政はその場を提供できるか。前向きな議論と明確な方向性を。
- ・市は、各地区のコミュニティと交流を深くし、市民の意見を直接聞いて、まちづくりに活用してほしい。
- ・行政と市民のパートナーシップによる市政の運営が求められる。いかに「自分ごと」として考え、行動することができるか、行政はその場を提供できるか。前向きな議論と明確な方向性を。
- ・市民が安心して暮らせるよう、財政的な安心感を市民に与えないと、市民が外に出ていき、税収が減っていく。議会で活発な議論を期待したい。

（※地区WSでの参加者意見・アンケートから抜粋）